

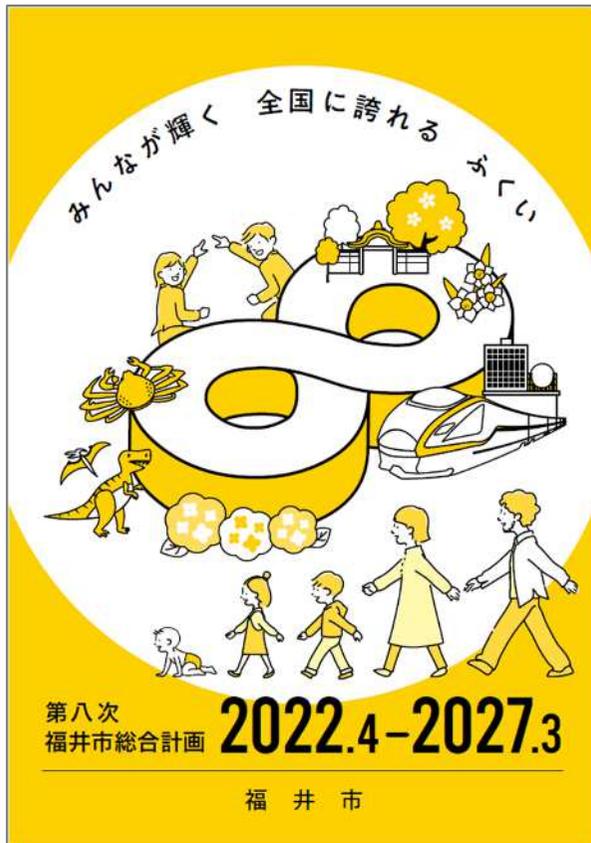
総合計画レポート 2022

第八次福井市総合計画
令和4年度成果報告書



「みんなが輝く 全国に誇れる ふくい」の実現へ

「総合計画レポート2022 第八次福井市総合計画 令和4年度成果報告書」とは



- 福井市では、目指すべき福井市の姿「**将来都市像**」を掲げた「**第八次福井市総合計画**」（令和4～8年度）を策定し、その実現に向けた市政運営を進めています。
- このたび、**令和4年度における市政運営の実績や成果**を市民の皆さまにお示しするため、「**総合計画レポート2022**」として作成しました。
- 今後も「**将来都市像**」の実現に向け、各種施策を進めてまいりますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願ひします。

将来都市像

みんなが輝く 全国に誇れる ふくい



目次

1	主な取組実績（重点方針・政策別）	3
2	数字で見る成果	18
3	市民アンケート結果	20
4	令和4年度プレイバック	21

施策 北陸新幹線の早期全線開業を目指す

「福井市観光交流センター」完成



公共交通利用者や福井駅周辺を訪れた方の利便性を高めるため、新幹線福井駅東口側に、観光案内所やカフェ等を備えた観光交流センターが完成しました。

また、令和5年10月のオープンに向けて、運営事業者を選定しました。

施策 公共交通の利用を促進する

越美北線ラッピング列車の運行スタート



北陸新幹線福井開業を活かした越美北線の観光利用を図るため、県やJR西日本などと連携し、笏谷ブルーをまとった列車や戦国武将のシルエットを装飾したラッピング列車の運行を開始しました。

「ふくチャリ」がもっと便利に 新システム導入



レンタサイクル「ふくチャリ」に、スマートフォンのアプリを使った新しいシステムを導入しました。

アプリでの予約や支払等の手続や24時間いつでも利用が可能になるなど、観光客や市民の方の利便性が向上しました。

施策 ICTを活用して公共交通の利便性を高める

ふくいMaaSが始動



車に頼りすぎない住みよいまちを目指し、公共交通やタクシーなどの利便性向上を図るため、嶺北11市町や民間事業者などで構成する協議会を設置し、「ふくいMaaSアプリ」の導入を検討しました。

10月からは電子企画切符の実証実験に取り組んだ結果、444枚の購入があり、うち約7割が県外客となりました。

今後、実証実験の結果を踏まえ、利用しやすいMaaSとなるよう、アプリ開発に取り組んでいきます。

MaaS・・・地域住民や旅行者一人一人のトリップ単位での移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせる検索・予約・決済を一括で行うサービス

施策 地域拠点の機能充実を図り、公共交通利用者の利便性向上を図る

地域の足となる「地域コミュニティバス」の運行を支援



地域住民の日常生活の足を確保するため、公共交通空白地域等において、地域の方々と交通事業者が連携・協力して運行する地域コミュニティバスに対し、運行にかかる経費を支援しました。

施策 県都にふさわしい魅力あるまちをつくる

市街地の再開発を支援



福井駅前電車通り北地区A街区市街地再開発組合提供

令和6年春の北陸新幹線福井開業に向け、交流人口の増加やまちなかの賑わい創出を図り、中心市街地全体の活性化に寄与するまちづくりを進めるため、民間主体の再開発事業を支援しました。

「県都グランドデザイン」策定



福井駅周辺のにぎわいづくりに向けた官民連携のまちづくりを進めるため、福井商工会議所・福井県・福井市が協力・連携して設立した「県都にぎわい創生協議会」において、令和4年10月に「県都グランドデザイン」を策定しました。

また、2040年の県都の将来像の実現に向け、官民が連携して各種プロジェクトに着手しました。

新幹線開業に合わせ、観光客のワクワク感を創出



北陸新幹線福井開業に向け、観光客に「恐竜王国ふくい」を強くPRするため、新幹線福井駅東口の福井市観光交流センターの屋上広場に恐竜モニュメントを設置しました。

施策 にぎわいの創出のための仕掛け、仕組みをつくる

高校生や大学生が主役のまちなかフェスを開幕



学生が「まちなかにあったら楽しい」と考える事業を自ら企画実現するプロジェクトとして、オタクカフェやコスプレアイドルショーなど、学生が主役のエネルギー溢れる「アオハルプロジェクト」を開催し、新たなにぎわいを創出しました。

かがやく福井の未来をイルミネーションで演出



まちなかを訪れる市民の方や観光客に向けて、冬の夜のイメージアップを図るため、福井駅西口広場やアップルロードをイルミネーションで演出しました。

施策 うるおいと個性あるまちをつくる

「ふくみちプロジェクト」により快適な道路空間を創出



来街される方や通勤・通学される方々にとって憩い、くつろげる快適な道路空間を創出するため、県庁線などにおいて屋外ファニチャーの設置やキッチンカーの出店、ワークショップなどの試行事業を実施しました。

施策 強靱な社会基盤を構築する

都市計画道路 志比口開発線の供用開始



平成27年度から整備を進めてきた都市計画道路志比口開発線（延長810m）の供用を開始しました。

その効果として、近隣の学校の通学路の安全確保や、環状東線の渋滞緩和、中心市街地へのアクセス向上などが図られました。

「新明里橋」の耐震改修工事が完了



耐震性が不足していた新明里橋において、平成27年度から進めていた耐震補強工事が完了し、安全で安心な道路環境を整備することができました。

また、380橋の橋梁の点検を実施し、安全確認を行いました。

調整池の整備などにより大雨被害を軽減



地下式の調整池のイメージ

大雨による市民生活への被害を減らすため、開発川流域において、降った雨を一時的に貯める地下式の調整池を若草公園内に整備しました。

施策 安全で快適な生活環境を保全する

福井市空き家等対策計画を改訂



空き家等に対する総合的な対策を計画的に実施するため、空き家等実態調査などの結果を踏まえ、「福井市空き家等対策計画」を改訂しました。

今後、計画を着実に実施し、空き家等の解消などに取り組みます。

憩いの場となる都市公園を整備



ちぐさ公園の遊具リニューアル

市民の憩いの場であり、災害時の避難場所でもある都市公園において、リニューアルを行い、子どもから高齢者まで安全で快適に過ごせる環境を整備しました。

施策 安全で安心な上下水道のサービスを提供する

老朽化したポンプ場の更新工事を実施



加茂河原ポンプ場完成イメージ

浸水対策として、排水能力の向上を図り、市民の安全・安心を確保するため、老朽化した加茂河原ポンプ場の更新工事を進めました。

令和5年度内の供用開始に向け、更新事業進捗率が83%に到達しました。

施策 福井とつながる人口の対流を創出する

都市部人材と福井市の若手人材との交流機会を創出



地元企業とともに事業化のアイデア創出を目指す「INTERWEAVE」成果発表会

人口の対流を生み出し、将来的な移住定住にもつながる関係人口の創出・拡大を図るため、地元企業とともに事業化のアイデア創出を目指すワークショップ等を開催し、関係人口のネットワーク拡大を図りました。

また、企業や若者、大学等による官民連携のプラットフォームを構築し、都市部から福井に持続的に人の流れを誘引する仕組みを検討しました。

施策 ライフステージに応じた人材還流を促進する

福井市への移住定住を強力にサポート

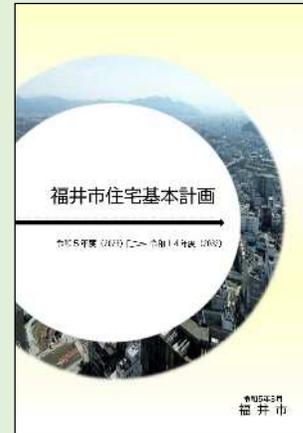


福井市への移住定住を促進するため、子育て世帯を対象とした移住支援金を増額するなど、支援体制の充実を図りました。

また、都市部で開催される移住フェアへの出展、ウェブサイトや雑誌への掲載、福井市応援隊へのメールマガジンの配信などを行い、全国に福井市の魅力や住みよさの発信を行いました。

令和4年度 UIターン者数：428人

施策 地域の資源を活かし、安心して住み続けられる住環境をつくる



福井市住宅基本計画を改定

人口減少や少子高齢化、空き家の増加、頻発・激甚化する災害など、社会情勢の大きな変化に対応するため、基本理念「誰もが安心して住み続けられる ふくいの住まい」の実現に向けて「福井市住宅基本計画」を改定しました。

今後、ふくいらしい魅力的な住環境の推進に向けて、多世帯同居・近居の推進をはじめとした各施策に取り組み、住まいづくりの支援を進めます。

施策 地域の活性化や地域コミュニティの維持に取り組む

地域住民を主体とした地域課題解決の取組を支援



殿下地区で試験的に実施したオンライン診療の様子

地域住民が主体となったまちづくり活動を推進するため、活動や地域の将来像（地域未来づくりビジョン）策定などへの補助、まちづくり専門人材の派遣、ガバメントクラウドファンディングを通じた支援などにより、各地域特有の課題を踏まえた多様なまちづくり活動の実施につなげました。

施策 誰もが活躍できる社会の実現を図る

若者の人権尊重意識を啓発



人権ワークショップの様子

若者世代への人権意識の醸成と、他世代に人権啓発を進める担い手を育成するため、大学生等を対象に、人権を学ぶワークショップを実施しました。

ワークショップでは、「インターネット上の人権侵害」「LGBTQ」「障がい者」をテーマとし、自分たちにできる人権啓発の取組を考え、発表することで、人権尊重への理解を深めました。

施策 女性が輝きいきいきと暮らせる社会の実現を図る

男性の家事・育児への参加意欲を増進



「家事いいネ！コンテスト」作品

家事の楽しみや負担軽減、時短をテーマにしたエピソードや写真、動画を募集する「家事いいネ！コンテスト」を開催しました。

300件を超える応募があり、男性や家族が楽しく家事を行う工夫や時間や手間を省くコツなどの作品をSNSやホームページで発信し、ワーク・ライフ・バランスの推進を図りました。

施策 多文化共生のまちづくりと国際交流を推進する

姉妹都市との交流を通じ国際交流を深化



市民間の交流をきっかけに姉妹都市提携を結んだフラトン市から、延期となっていた提携30周年記念の訪問団26人が本市を訪れました。

小学校での視察や北陸新幹線福井開業を目前とした福井での滞在を通して、フラトン市との国際交流を深めることができました。

施策 ボランティアの力を高め 市民と行政が力を合わせる協働のまちづくりを進める

被災地に災害ボランティアバスを運行し、早期復旧を支援



8月の大雨により被害を受けた南越前町を支援するため、災害ボランティアバスを運行し、ボランティア等を送り出すことで、被災地の復旧を支援しました。

現地では、市民や市職員及び市民活動団体などが、被災した家屋において泥の撤去などの復旧作業を行いました。

施策 生活習慣病予防に取り組むなど
生涯にわたる健康づくりを支援する

HPVワクチン接種や検診勧奨による健康づくりを支援



イメージ

子宮頸がんの原因となるヒトパピローマウイルス（HPV）感染症を防ぐため、12歳から25歳の女子に対し、HPVワクチン接種の積極的勧奨を再開しました。

また、がん検診などを勧奨し、市民の健康づくりを支援しました。

施策 子どもが健やかに生まれ育つ環境をつくる

安心して子どもを産み育てられる環境を整備



子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、第二子の保育料等の無償化対象の拡充に加え、子ども医療費の助成対象を高校3年生までに拡大しました。

また、福井市子ども・子育てアプリを開始し、子育て情報の提供を行いました。

施策 高齢者が住み慣れた地域で
安心して暮らし続けることができる環境をつくる

判断能力が不十分な方をバックアップする体制を整備



嶺北7市町が連携して、成年後見制度利用促進の中心的な役割を担う中核機関を新たにフェニックス・プラザ内に設置し、制度の普及啓発や相談体制の整備を行いました。

施策 障がいや難病等を抱える人が
地域で安心して生活できるよう支援する

障がい者の就労を支援



ふくしぱんしょっぷ

障がい者が社会の中で安心して自分らしい生活が送れるように、雇用調整員による就労支援を行った結果、20人の障がい者が一般就労することができました。

また、障害者福祉施設への発注機会を拡大するため、市役所内にて「ふくしぱんしょっぷ」を開催しました。

施策 複雑化・複合化する支援ニーズを包括的に受け止める
体制をつくる

生活困窮やひきこもり等に対する相談体制を強化



福祉総合相談室「よりそい」への社会福祉士等の専門職の配置による相談体制の強化や、アウトリーチ支援員による300件を超える訪問相談などにより、市民の生活の困りごとや不安解消に向けた支援を行いました。

施策 公衆衛生の向上や健康管理の強化に取り組む

新型コロナウイルスワクチンの早期接種を促進



イメージ

仕事帰りの夜間に気軽に接種できる機会を増やす「ワクチンシナイト」や、買い物ついでにまちなかで接種ができる「まちなかdeワクチン」などを実施し、市民へのワクチン早期接種を働きかけました。

施策 環境負荷低減の取組を推進する

環境にやさしく安全で災害に強い「新ごみ処理施設」の整備を推進



温室効果ガスの排出量の削減や、環境汚染物質の発生抑制を図った環境にやさしい新ごみ処理施設の令和8年度稼働開始に向けて、施設の実施設計に着手しました。

また、立地地区である岡保地区の理解を深めるため、意見交換や説明などを実施しました。

施策 環境対策に積極的に取り組む企業を支援育成し、公害や不法投棄のない快適な生活環境を守る

公害の未然防止と廃棄物の適正処理を推進



企業向け研修会の様子

市民の快適な生活環境を守るため、大気や河川水質等の継続的な環境監視、事業所への立入等を行うとともに、廃棄物処理業者・排出者等への指導・監督、啓発やパトロール等による不法投棄及び不法焼却の抑制に努めました。

また、企業向け研修会の実施や廃棄物減量アドバイザーの派遣など、環境対策に取り組む企業を支援しました。

施策 自然や都市環境を守り育て、未来に伝える

地域の自然資源を活かす市民団体の活動等を支援



環境ボランティアによる竹林整備の様子

地域の豊かな自然や生息する多様な生き物を守り育て、将来に伝えるために市民団体等が行う「生き物の保護・再生活動事業」「自然と親しみふれあう事業」「地域の自然資源を生かす事業」の活動を支援し、地域の自然や都市環境の保護に努めました。

また、環境ボランティア登録者が累計で300人を超えるなど、自然保護活動を輪を広げることができました。

施策 市民、市民組織、事業者、行政が共に環境を考え、共に行動できる人づくり・まちづくりを進める

各種イベントを通して市民の環境保全意識を向上



市民・市民組織・事業者・行政で構成する「福井市環境推進会議」が中心となり、ハピテラスにて「福井市環境フェア」を開催し、市民の環境保全意識の向上を図りました。

「脱炭素ワークショップ」を開催し、アイデアの発表を通して、ゼロカーボンシティの実現に向けた具体的な取組について考えるイベントを行いました。

施策 地域の防災力を高める

4年ぶりに防災ハンドブックを改訂



市民の防災意識の向上と自助・共助による防災体制の強化を図るため、自然災害への備えや対策、避難する際の留意点、各地区における災害リスク等、最新の防災情報を盛り込んだ「福井市防災ハンドブック」を作成し、自治会を通じて各世帯に配布しました。

施策 火災等から人命と財産を守る

分署の整備や消防車等の更新により消防力を向上



消防体制の強化による消防力の向上を図るため、大安寺分遣所と鶉分遣所を統合し、福井市北西部の新たな消防拠点として、臨海消防署川西分署を開署しました。

また、消防分署の消防車などの車両4台を更新し、迅速かつ効果的な消防・救急活動を行う体制を整えました。

施策 地域における防犯力を向上する

防犯隊への活動支援を通して地域の安全を確保



福井市防犯隊CM

地域住民によって組織された「福井市防犯隊」の活動を支援し、1,500回を超える防犯パトロールの実施や防犯広報、少年非行防止活動などを通して、地域の安全確保に努めました。

施策 安全安心な消費生活を支える

消費者トラブルに遭わない「かしこい消費者」を育成



成年年齢引下げによる若者世代を狙った消費者契約や儲け話に関するトラブルなど、複雑多岐にわたる消費者トラブルの未然防止のため、被害事例などの情報発信を行い、市民への注意喚起を促しました。

施策 交通安全対策を推進する

小学生が高齢者等への反射材の着用をPR



高齢者の交通事故防止に向け、小学生による交通安全反射材PRグループ「ワン スター」を結成し、高齢者の交通安全啓発イベント等において、歌とダンスで反射材の着用を呼びかけました。

施策 スマート農業等新たな時代に対応した農業を推進する

スマート農業の推進や担い手確保に注力



農家に対し、農業用ドローンなどのICTを活用した農業機械の導入費用を支援することで、農作業の省力化や栽培技術の向上を図りました。

また、東京や大阪で開催された就農フェアに出展し、農業の魅力を発信することで、就農意欲のある若者などを本市に呼び込み、担い手確保に取り組みました。

施策 ブランド化や販路開拓等新たな可能性にチャレンジする

福井市生産品の販路開拓を推進



福井市産直ECサイトにおいて、出品数の拡大(85品 133品)や情報発信の強化などにより、生産者の所得向上や、市の農林水産品のファンづくりに取り組みました。

また、福井銀行等と連携し、「ふくいヒトモノデザイン株式会社」を設立し、銀行の強みであるネットワークを活かした金福・銀福すいかやオリーブなどの市特産品の新たな販路開拓に取り組みました。

施策 稼げる林業と水産業を推進する

森林経営の意向調査と漁業者の所得向上支援を実施



サクラマス

森林環境譲与税を活用し、適切に管理されていない森林を意欲ある林業経営者につなぎ整備するため、森林所有者に対する意向調査や、境界の明確化などを実施しました。

また、サクラマスやバフンウニなどの養殖に取り組む漁業者等を支援し、漁業所得の向上を図りました。

施策 農地・農村の環境を守り活性化を図る

越前水仙の産地振興を推進



本市のブランド農産物である「越前水仙」の産地振興を図るため、ボランティアによる球根の掘り上げや土壌改良を実施し、圃場再生に取り組みました。

また、ハピテラスにて越前水仙の試験販売を実施し、水仙を気軽に親しんでもらえる機会を提供しました。

施策 地域の商工業を振興する

コロナからの経済再生に向けた消費喚起策を実施



電子クーポンアプリ「ふく割」を活用した小規模店やまちなか等で使用できる福井市限定のデジタルクーポンを発行し、新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響を受ける商業者を応援し、地域経済の回復につなげました。

施策 創業や事業承継を促進する

熱意ある創業をバックアップ



市内での創業を応援し、地域経済の活力向上を図るため、創業にかかる初期費用への一部支援や創業支援資金による金融支援、各商工団体や金融機関等と連携した相談窓口の設置、地域活性化につながるビジネスプランコンテストの開催など、様々な取組を通して創業を支援しました。

その結果、市内では、117人の新たな創業者が誕生しました。

ビジネスプランコンテスト チラシ

施策 地元で働く魅力を発信する

企業訪問等により地元企業の魅力を若者にPR



企業訪問の様子

県内外の大学生を対象に、企業訪問や経営者との座談会などを行う「ふくいU・Iターンサマーキャンプ」や「企業訪問ツアー」を実施し、本市で働くことのメリットや地元企業の魅力を伝え、学生の福井への就職意識を高め、U・Iターンを促進しました。

施策 多様な人々が活躍できる雇用環境を推進する

就労機会の創出と働き方改革の推進に注力



働き方改革セミナー チラシ

障がい者を対象とした自己分析や模擬面接等を行うセミナーや、子育てなどを機に離職した女性を対象とした複数の企業との面談ができる就職説明会を開催し、就労への機会を創出しました。

企業に対し、高齢者雇用セミナーや働き方改革に関するセミナーの開催、奨励金の交付などを通して、生き生きと働き続けることができる職場環境の改善に向けた取組を働きかけました。

施策 観光資源を磨き上げる

一乗谷朝倉氏遺跡の魅力を引き上げ



ARイメージ

県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館と連携し、周遊バスの運行やAR・VRを活用したデジタル案内ガイドの整備などを行い、国内外の観光客を受け入れる魅力ある環境づくりを行いました。

施策 誘客プロモーションを強化する

首都圏を狙った戦略的プロモーションを展開



JR東京駅八重洲口でのポスター掲示

令和6年春の北陸新幹線福井開業に向けたプロモーションとして、古市憲寿さんを主演としたポスターやプロモーション動画を作成し、東京駅構内での掲示や都内の新聞での全面広告など、首都圏に向けて集中的に発信しました。

北陸新幹線福井開業の機運を醸成



福井駅周辺の4市町（福井市、大野市、勝山市、永平寺町）で連携し、ハピテラスにて福井開業1年前イベント「福いいネ！北陸新幹線ウエルカムフェスタ」を開催し、開業に向けた機運を盛り上げました。

施策（続き）

福井ゆかりの映画を使った観光プロモーションを実施



開業半年前となる令和5年の秋に、全国上映される麻生津地区が舞台の映画「おしよりん」の制作を支援することで、映画を使った観光プロモーション活動を実施しました。

若者に人気のライトノベルとのコラボにより魅力をPR



福井が舞台の人気ライトノベルとコラボした市内観光地等を巡る周遊イベントや、飲食店等とのコラボ企画を実施し、県内外から多くの方に参加いただくなど、本市の魅力を全国にアピールしました。

施策 おもてなしの充実を図る

観光客を温かく迎える人材を育成



おもてなし観光ガイド

観光客を温かく迎え入れることで、再び訪れたいと思っていただけるよう、事業者や市民を対象としたおもてなし研修の実施やおもてなし観光ガイドの育成などを行い、おもてなし力や観光客の満足度の向上につなげました。

施策 市民の心を豊かに育む文化芸術を振興する

「ふくいバーチャル文化芸術祭2022」を開催



文化芸術活動の発表と活動の新たな場として「ふくいバーチャル文化芸術祭2022」をウェブ上で開催しました。60作品の応募と、4,000人以上の視聴があり、入賞作品をハピテラスで放映するなど、多くの市民等に文化芸術に親しむ機会を提供しました。

著名な画家などの作品を展示した美術展が大盛況



美術館では、多彩な企画展を開催し、「生誕100年 山下清展」や「木梨憲武展」は、それぞれ来場者が2万人を超えるなど、幅広い年代層に美術を楽しむ機会を提供しました。

施策 歴史や文化遺産を保存・継承し活用する

嶺北市町で連携し、お互いの文化資源の魅力を発信



「近代化遺産」をテーマに、嶺北11市町において、合同出張ミュージアムを開催しました。

ミュージアムでは、鉄道や産業など福井の近代化に貢献した文化資源を紹介するパネルを展示し、各市町の魅力に触れる機会を提供しました。

施策 自然科学教育で創造性豊かな子どもを育む

70年にわたって自然科学を発信



自然史博物館

昭和27年以来、自然科学に触れ合う場として多くの市民に親しまれてきた市自然史博物館が開館70年を迎えました。

第87回特別展では、石を題材に福井の歴史を辿るとともに、博物館が開館した当時の復興博覧会のニュース映像を放映し、博物館の歴史を市民とともに振り返りました。

プラネタリウムを利用した多彩なイベントを開催



有名キャラクターとコラボした特別展を開催したほか、プラネタリウムでは、乳幼児連れで楽しめる「ベビープラネタリウム」や、プロオーケストラ奏者による演奏会など、幅広い層に向けて魅力あるコンテンツを展開しました。



また、国立天文台や大学などの研究者による講演会をプラネタリウムで開催し、最先端科学に触れる学びの場を提供しました。

施策 子どもの生きる力を伸ばす学校教育を充実する

キャリア教育やプログラミング教育を充実



子どもたちの「生きる力」を育むため、学校と地域・企業をつなぐ福井市キャリア教育コーディネーターの任用や、キャリア教育プログラムの作成などを行い、小中学校合わせて359学級でキャリア教育を実施しました。

また、「GIGAスクール構想」の実現に向け、専門的知識を持つ人員を中学校に配置し、プログラミング教育の充実を図りました。

施策 子どもの健康増進を図る

新学校給食センターの整備を推進



市HPより

施設の設計・施工から、施設の維持管理や給食調理等の運營業務までを民間事業者へ一括して発注する福井市初のPFI事業として、令和6年の供用開始に向けて、建設工事に着手しました。

新学校給食センターでは、ドライシステムの導入などにより徹底した衛生管理を行うとともに、食物アレルギーに対応した専用調理室を設置することで、安全・安心でおいしい給食を提供します。

施策 子どもの安全を守り、健全な育成を図る

中学校部活動の地域移行を研究



中学生にとって望ましい持続可能な部活動環境の構築や教職員の働き方改革を推進するため、市地域運動部活動研究評価委員会を設置しました。

委員会では、市内9校の剣道部を対象としたモデル事業を選定し、その事業に参加した生徒・保護者を対象にアンケートを行い、課題や今後の方向性について検討しました。

施策 学びの場としての学校環境を整備する

福井市北部地域の学校規模適正化を着実に推進



ワークショップの様子

森田・河合の両地区を校区とする新たな中学校の整備を進めるため、学校用地を取得するとともに、用地造成や建築に係る設計に着手しました。

建築の設計にあたっては、新しい時代の学びに相応しく、また、地域と連携した学校づくりを実現するため、ワークショップを開催し、地域や学校関係者の方々との意見交換を行いました。

施策 市民の生涯学習を支援する

老朽化した公民館を改修し、生涯学習の場を整備



越廼公民館

安全性が高く市民にとって使いやすい公民館となるよう、老朽化した越廼公民館や湊公民館の大規模改修及び耐震補強工事を実施しました。

20歳の節目を迎えた若者を祝福



福井市内の中学校を卒業した20歳の方を対象として、「福井市はたちのつどい」を開催しました。

当日は、約2,000人の参加があり、社会の一員としての自覚を認識する機会となりました。

市立図書館のリニューアルに着手



老朽化が進んでいる市立図書館を大規模改修し、地域交流センターを併設する複合施設とするリニューアル工事に着手しました。



ミニ図書館

また、工事期間中においても図書サービスが維持できるよう、田原町駅に隣接する施設に約1800冊の書籍を配架したミニ図書館を開設し、予約や貸出、返却、相談等に対応できる環境を整えました。

施策 市民の生涯スポーツを支援する

ふくい桜マラソンに向けた機運を醸成



北陸新幹線福井開業後に、県及び坂井市と連携した「ふくい桜マラソン」を開催するため、リアル・オンラインのラン&ウォークイベント開催による参加者の裾野拡大や、1年前プレ大会の開催、PR動画の公開などにより大会に向けた機運醸成を図りました。

プレ大会では、県内外から4,973人のエントリーがあり、本大会に向けたランニング人口の拡大に繋げることができました。

フットボールセンターの整備等を推進



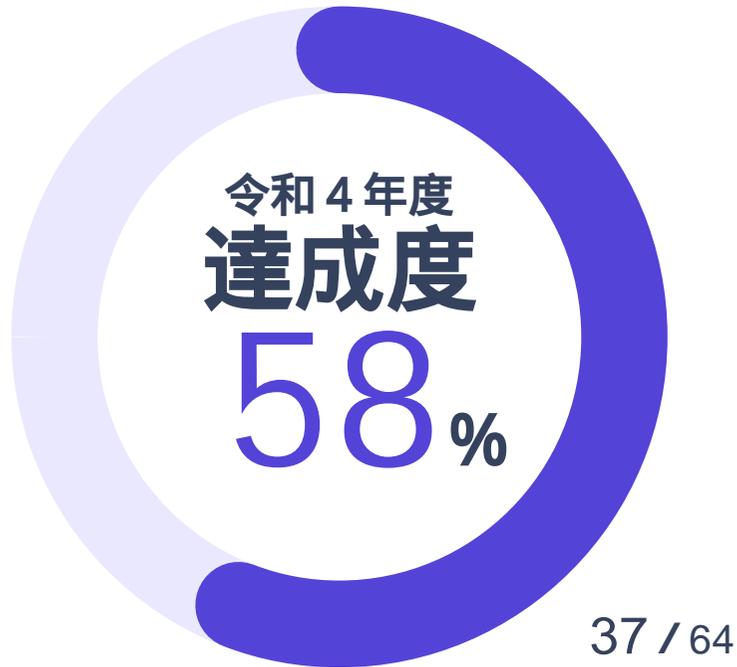
人工芝グラウンドやナイター照明などを備えたフットボールセンターは、令和5年12月の工事完成を目指し、令和4年8月に、クラブハウスの建築工事に着手しました。

また、西、南体育館アリーナ照明設備のLED化を行い、スポーツ環境の改善を図りました。

数字で見る成果（数値目標の達成状況）

総合計画では64の数値目標(KPI)を設定し、その達成状況を通して総合計画の進行管理を行っています。

【全体】



【政策別】

	政策	KPI達成数 / 設定数
社会 基盤	【1】公共交通	2 / 4
	【2】中心市街地	0 / 3
	【3】生活インフラ	7 / 7
市民 福祉	【4】地域活性化	2 / 4
	【5】共生・協働	3 / 5
	【6】福祉	3 / 6
	【7】環境	4 / 4
	【8】防災・安全安心	4 / 7
産業	【9】農林水産業	5 / 6
	【10】商工業	3 / 4
	【11】観光	1 / 3
教育	【12】文化、歴史、自然	1 / 3
	【13】学校教育	1 / 6
	【14】生涯学習、スポーツ	1 / 2

達成できた主なKPI

- 木造住宅の耐震化戸数（累計）
- 国際交流事業等への市民参加者数
- 保育園等の待機児童数
- アウトリーチによる訪問件数
- 環境学習会参加者数
- スマート農業導入経営体数（累計）
- 市内の創業者数
- 小中学校特別教室の空調設備整備率 など37項目

未達成となった主なKPI

- 公共交通機関の乗車人数
- ハピリン入込客数
- 市の審議会・委員会等委員に占める女性の割合
- 森林整備面積
- 市内観光消費額
- 主要な歴史・文化施設への入場者数
- 肥満傾向にある児童の割合
- 公民館利用者数 など27項目

数字で見る成果



令和4年(又は4年度)の1年間において、特に成果のあったものをご紹介します。

安全

市内交通事故死者数

令和3年 12人



令和4年 1人

公共交通

ふくチャリの利用回数

令和3年度 5051回



令和4年度 6729回

福祉

生活保護の自立世帯数

令和3年度 85世帯



令和4年度 121世帯

防災・消防

火災発生件数

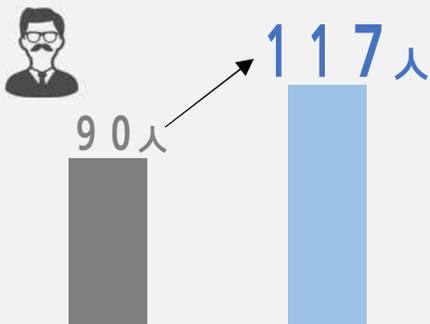
令和3年 48件



令和4年 38件

商業

市内での創業者数

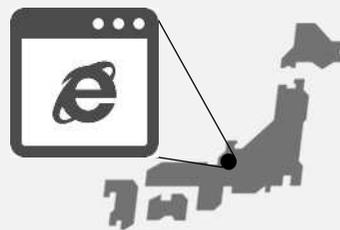


令和3年度 令和4年度

観光

市ポータルサイト 閲覧数

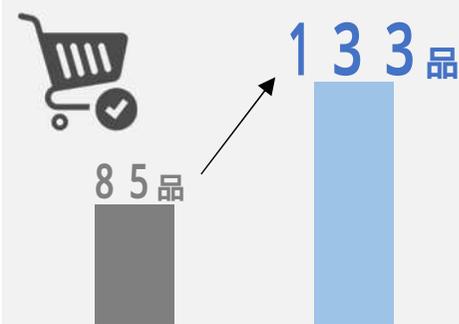
令和3年度 38万ビュー



令和4年度 163万ビュー

農林水産業

ECサイト「ふくいさん」出品数



令和3年度 令和4年度

財政

財政調整基金残高

令和3年度末 28億円



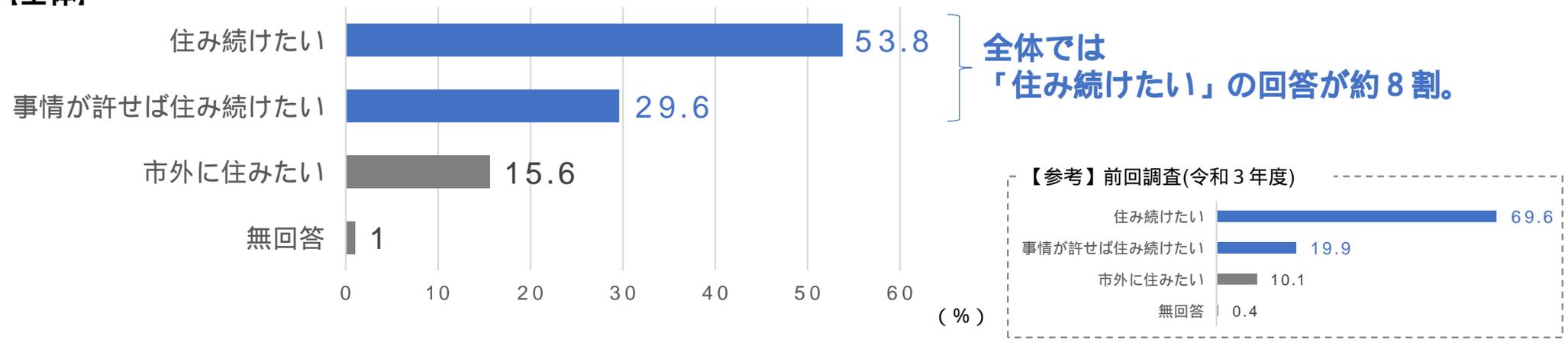
令和4年度末 34億円

市民アンケート結果（ふくeアンケート）

市民の皆さまを対象としたアンケートを実施し、住みよさの実感度などの調査を実施しました。（回答数1,485人）

Qあなたは、これからも福井市に住み続けたいと思いますか。

【全体】



【年代別】

	住み続けたい	事情が許せば 住み続けたい	市外に住みたい
18～19歳	20.8%	34.7%	37.5%
20代	24.5%	34.9%	38.6%
30代	49.5%	34.0%	16.0%
40代	53.9%	32.6%	13.4%
50代	59.1%	29.3%	10.4%
60代	64.6%	22.9%	12.6%
70代	74.4%	20.0%	4.4%
80歳以上	72.7%	18.2%	9.1%

若者世代では「市外に住みたい」の回答が多い。

高齢世代では、「住み続けたい」の回答が多い。

(参考) 令和4年度プレイバック

福井市が目指す将来都市像の実現に向けて、様々な取組やイベントを実施しました。

4月	<ul style="list-style-type: none">・「第八次福井市総合計画」スタート・「子ども医療費助成制度」高校3年生相当まで対象拡大・映画「おしよりん」市長が撮影を激励・ゲンキー(株)と「災害救助に必要な物資の調達に関する協定」締結・臨海消防署川西分署 完成式	10月	<ul style="list-style-type: none">・アプリによる電子企画切符販売(ふくいMaas実証実験)・子育て世帯対象事業「福いいネ!新米応援キャンペーン」実施・全国初となる道路と新幹線の併用橋「新九頭竜橋」開通式・「県都グランドデザイン」策定発表・学生企画実施プロジェクト「まちなかアオハルプロジェクト」開催
5月	<ul style="list-style-type: none">・(株)ベルと「災害時における被災者等への支援活動に関する協定」締結・ディノケールに関する産学官(キューピー(株)×共立女子大×福井市)連携・産業資源循環協会と「災害時における廃棄物処理等の協力に関する協定」締結・福井放送(株)と「防災減災パートナーシップ」に関する協定」締結・北陸新幹線福井開業プロモーション動画・ポスター制作発表	11月	<ul style="list-style-type: none">・「福井・勝山石がたり日本遺産フェスティバル2022」開催・北陸新幹線福井開業プロモーション動画・ポスター制作第2弾発表・「福井市防災ハンドブック(改訂版)」の配布・「福井市新学校給食センター」起工式・越前東郷駅の駅舎リニューアルの完成記念式典
6月	<ul style="list-style-type: none">・歩行者利便増進道路制度試行事業「ふくみちJune2022」実施・ふくい嶺北連携中枢都市圏「ふくい嶺北成年後見センター」開所式・西武福井店で物産展「おいしいふくい大博覧会」開催・「住みよさランキング2022」全国総合第2位ランクイン・脇本雄太選手「日本選手権競輪G」優勝報告会	12月	<ul style="list-style-type: none">・「拉致・特定失踪者問題の早期解決を願う福井県集会」の共催・観光交流センター屋上の恐竜モニュメントお披露目・合格祈願のマンホールカードお守りの配布・並行在来線新駅設置候補地 検討結果報告・「第48回越前海岸水仙まつり」開催(12~1月)
7月	<ul style="list-style-type: none">・三越日本橋本店で福井市物産展「福井市納涼マルシェ」開催・福井市宿泊割引キャンペーン「福いいネ!クーポン」応募開始・学生対象「繊維産地ふくいつアー」実施・福井市・結城市 友好都市提携20周年記念セレモニー・地域の拠点づくり事業「越廼ワクワク市」「美山ワクワク市」開催(7月・11月)	1月	<ul style="list-style-type: none">・パリのテキスタイル展示会で「繊維産地ふくい」をPR・姉妹都市青少年交流事業として熊本市交流団(小学6年生)を受入・「福いいネ!くん」北陸新幹線沿線都市キャラバン(石川県 東京都)を実施・「福井市津波ハザードマップ(改訂版)」の配布・「ふくいバーチャル文化芸術祭」応募作品の授賞式
8月	<ul style="list-style-type: none">・大雨断水被害を受けた南越前町へ応急給水活動派遣・ライトノベル「千歳くんはラムネ瓶のなか」コラボ企画によるプロモーション・交通安全反射材PR隊「ワン スター」活動スタート・「FUKUI PHOENIX FESTIVAL feat. RED PHOENIX」(福井フェニックスまつり特別企画)開催・都市計画道路 志比口開発線の供用開始	2月	<ul style="list-style-type: none">・北陸新幹線福井開業カウントダウンボードの設置・「福井市観光交流センター」建設工事の完了・「ふくいとそぼ。」Instagramキャンペーン実施・越廼漁協による養殖サクラマスメニュー提供in福福館・フェニックス通り(新木田・花堂)の拡幅に向けた都市計画の変更
9月	<ul style="list-style-type: none">・地域とつながる子育てアプリ「ふくいくネ!」利用スタート・第二子の保育料等の無償化範囲拡大・外国人目線でのインバウンド向け観光パンフレット制作・高知市との観光プロモーション・パートナーシップ事業「高知市観光物産展」開催・防災センター入館50万人達成記念セレモニー	3月	<ul style="list-style-type: none">・「ふくチャリ」リニューアル・福井駅高架下公衆トイレ及び喫煙所のリニューアル・福井市とLDH JAPANとの包括連携協定の締結・「福井市はたちのつどい」開催・「第38回ふくい桜まつり」開幕